



創立昭和28年1月8日

# TANABE ROTARY



District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2019-20年度  
国際ロータリーテーマ  
「ロータリーは世界をつなぐ」  
-ROTARY CONNECTS THE WORLD-  
マーク・ダニエル・マローニー R I 会長  
国際ロータリー第2640地区  
中野 均ガバナー

**4つのテスト (FOUR WAY TEST)**  
言行はこれに照らしてから  
(1) 真実かどうか  
(2) みんなに公平か  
(3) 好意と友情を深めるか  
(4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30  
例会場 ホテル・ヴェスト南紀田辺  
会長 白井 浩  
幹事 古谷 典子  
会報委員長 山路 守  
http://tanabe-rc.com/

承認 昭和28年3月2日  
事務所 〒646-0031  
田辺市湊23-6  
TEL 0739-24-2002  
FAX 0739-26-0264  
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「しょうわ会&新会員歓迎会-2020-1-30-」  
於:海鮮問屋丸長田辺店

- 司会者 白井 浩会長
- ソング 我ら日本ロータリアンの歌
- ゲスト
- 米山記念奨学生 シャフィク, ミナ カマル アシャム君
- ビジター

## 2月6日のプログラム

会員卓話  
廣本 喜亮 会員

## 2月13日のプログラム

中島 英介 様

## 出席報告

	第3275回	第3276回	第3277回
会員数	84名	85名	85名
出席規定免除会員数	7名	7名	7名
出席計算会員数	81名	82名	81名
出席者	62名	62名	64名
出席率	76.54%	75.61%	79.01%

## お祝い

会員誕生日 原見  
配偶者誕生日 小川真由美(豊介) 多屋由紀子(平彦)  
町田貴子(公近) 中田涼子(隆晶)  
住山ひでみ(康臣) 脇村敬子(明)  
辻 昌子(啓次郎)  
皆出席 廣本(37年)

## ニコニコ箱

☆職業奉仕池永康則委員長、本日の卓話宜しくお願  
いします。……………白井、古谷  
☆池永康則さん、卓話宜しくお願  
いします。……………  
……………新井、福本雅、廣本、伊賀、稲田静、木村頼、  
皆瀬、柏木、近藤、松本、三前剛、三谷、溝口、中田隆、  
長井、西嶋、大木、新藤、住山、田端、田上、瀧本、玉井、  
玉置英、田中元、坪井、植田英、脇村明、脇村富、矢野、  
横田、吉田透、玉置達、山本博、濱口、平尾、岩本、瀬戸

## お知らせ

### 会長報告

・アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴにて開催  
されています国際協議会に於いて、20日にホルガー・  
クナーク国際ロータリー会長エレクトにより2020~  
2021年度国際ロータリーテーマが発表されました。  
「ロータリーは機会の扉を開く」です。このテーマは、



ロータリアンがリーダーシップを強化する機会をつ  
くり、奉仕の理念を行動へと移し、支援を必要とする  
人々の生活を向上する活動を行うようロータリアン  
を喚起しています。

## 幹事報告

- ・次週30日は、休会ですのでお間違えの無いようお願い  
いたします。
- ・青少年ライラセミナー開催のご案内、くちくまのク  
ラブ「シーカ」、ザ・ロータリアン、近隣クラブ会報を  
回覧します。

## 米山記念奨学生

- ・米山記念奨学生のシャフィク, ミナ カマル アシャム君に奨学金をお渡しします。



《シャフィク, ミナ カマル アシャム君》

- ・来月の22日に教会で結婚式を挙げる  
ことになりました。  
皆さんも是非参加して下さい。

## 委員会報告

### しょうわ会

住山康臣しょうわ会会長

- ・来週の30日(木)は、例会は休会ですが、しょうわ会&  
新会員歓迎会を、海鮮問屋「丸長」田辺新庄店に於い  
て午後6時30分より行います。間違えずにご参加よ  
ろしくお願  
いします。

### 野球部

住山康臣会員

- ・例会終了後、この会場で会議を行いますのでお残り  
下さい。



職業奉仕月間

『職業奉仕の理念について』

職業奉仕委員会  
池永 康則 委員長

二度目の職業奉仕委員会の委員長を本年度お引き受けしました。ロータリーの職業奉仕について、諸先輩方がまとめられた資料より、前回学んだことの復習とともに今回は、ロータリーの精神である職業奉仕をモットーに世界的企業を築いたカーネル・サンダースについて知り得たことをお話しいたします。皆様には既にご承知のこととは思いますが、しばしお付き合いをお願いいたします。

まずロータリーの職業奉仕の考えとは、どういう経緯で生まれたのか、またその歴史について調べてみました。

ロータリークラブは、ご承知のとおり1905年2月にシカゴでポール・ハリスら4人の仲間により、一業一会員を原則に親睦と相互扶助を目的に誕生いたしました。この当時、日本は日露戦争の真っ最中であり、米国ではフォードが自動車会社を設立した時期でもあり、経済活動は活発となってきていましたが、利己的な競争が横行し、資本主義の矛盾や悪いところが噴出した時代であったと言われています。ロータリーが誕生した翌年、会員同士の親睦と互惠取引を目的とした最初のクラブ定款が定められました。このとき、弁理士のドナルド・カーターに入会を勧めますが、自分たちだけの利益を追求している団体には将来性も魅力もないと最初は断られました。これを聞いたポール・ハリスは考え直して、定款を変更し、シカゴ市の利益の増進に努めることを加えました。そしてドナルド・カーターもロータリーへの入会を承諾することになった次第です。この事が、現在のロータリーへの発展につながる最初の大きな転機であったと考えられます。

この時点では、まだロータリーは弱者救済的な寄付活動にとどまっていたが、次に1908年にアーサー・シェルドンの入会により、職業奉仕理念の誕生へと更に発展することになりました。シェルドンは、出版社を経営し、シカゴにてビジネススクールを設立して経営学を教えていました。彼は、He profits most who serves best(最もよく奉仕する者、最も多く報われる)をモットーに職業を通じて、世のため人のために働くべきだと訴えたのです。

1920年から1930年の10年間、米国の禁酒法時代におけるロータリーの職業奉仕理念が社会に果たした役割は大きく、またシカゴクラブの会長らがマフィアの粛正に活躍したとも言われています。そして続く、世界恐慌が起こった1930年代になり、ハーバート・テイラーが考案し、倒産の危機にある会社再建に用いられたスローガン「4つのテスト」が1939年にロータリーの職業奉仕の指針となりました。

こうしたロータリーの先駆者たちの努力と貢献により、ロータリーは飛躍的な成長と発展を遂げ、国際的

なクラブとなり、現在の職業奉仕理念の原点とも言える形が作られたのです。会社組織ではないクラブが、このように急速的に拡大、発展したことには、たいへん驚かされましたが、これは、恐らくその当時の社会情勢に対して経営者たちが求めるものに、しっかりとした経営哲学を持ったロータリーの先人たちが応えて、会員同士の親睦を深め、事業活動の支えともなり、経営指針ともなる職業倫理を示し、会員の心の拠りどころとなったからだと思います。

さて次に、ケンタッキー・フライド・チキンの創業者で有名なカーネル・サンダースについてお話しします。彼もまたロータリアンで、ロータリーの精神をもとにして、世界的企業であるケンタッキー・フライド・チキンを築いたと言われています。

カーネル・サンダースは、本名をハーランド・サンダースと言い、1890年インディアナ州で生まれました。皆さんに良く知られているカーネル・サンダースのカーネルとは、本来、陸軍大佐と言う意味ですが、ケンタッキー州では地域に貢献した人に与えている名誉称号であり、彼も45歳の時にこの称号を得たのでカーネル・サンダースと呼ばれ、今もこの名で親しまれています。

カーネル・サンダースは、早くに父を亡くしたため、中学校を中退後、様々な職業に従事したあと、ガソリンスタンドとレストランを始め、この時のレストランの人気メニューのフライドチキンが、後にケンタッキー・フライドチキンとなったのです。

彼のロータリークラブとの出会いは、29歳の時でインディアナ州ジェファーソンビルのロータリークラブのチャーターメンバーとなったのが始まりで、その後ケンタッキー州のロータリークラブに参加し、終生ロータリアンとして活動を続けたとのことです。

彼は、いくつもの事業に携わりましたが、常にロータリーの精神を経営信条として、4つのテストに照らし合わせながら、また他の人に最高のサービスをする人が最も利益を得ることができる、また自分の利益のことを考える前にまず貢献せよをモットーに一所懸命に働き、人の喜ぶ料理を真心こめて作ることに努め、ついに世界的フランチャイズ・チェーンであるケンタッキー・フライド・チキンを築き上げたのです。

しかも驚くべきは、その出発は65歳のとき、新しいハイウェイができることになり、車と人の流れが変わるために、それまで経営していたレストランを閉店せざるを得なくなったことにあるというのです。一時は、年金生活を考えたのですが、あまりに年金額が少ないことに憤慨したものの、手元にお金もないため自分独自のフライドチキンのレシピを伝授し、売れたフライドチキンに対するロイヤリティ契約を結ぶ、フランチャイズビジネスを思いついたのです。

彼のこのビジネスの成功は、良き友人に巡り合えたことと、彼の勤勉さと頑固さ、また完璧主義であったことによると考えますが、これらの礎に、ロータリアンであったことが大きく貢献しているものと思います。ケンタッキー・フライド・チキンの店先にある白いスーツに蝶ネクタイをしたカーネル・サンダースの襟のところには、今もロータリーバッジがついており、死してもなおロータリアンとして活躍していますので、どこかでお店を見かけましたら、是非、確かめてみてください。